

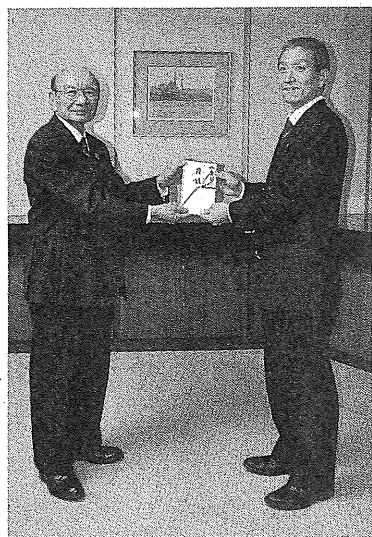
県東部自動車整備協同 組合が35周年で寄付

交通安全協会豊橋支部へ10万円

愛知県東部自動車整備協同組合（鈴木喜玄理事長）は6日、設立35周年を記念し、交通安全に役立ててもらおうと、交通安全協会豊橋支部（青木

良浩支部長）に10万円を寄付した。

青木支部長が社長を務める東海交通（豊橋市）で贈呈式が行われ、鈴木理事長が「35年間にわた



寄付金を青木支部長に手渡す鈴木理事長
㊤二東海交通で

って、しっかりと組合が運営できるのは皆さんのおかげ。自動車業界に携わる組合として、交通安全に少しでも役立ちたい」と寄付金を青木支部長に手渡した。青木支部長は「交通安全協会の運営は厳しい状況で、寄付はとてもありがたいです」と感謝した。

同組合ではこのほか、交通安全協会の豊川、蒲

郡、新城、田原、北設の各支部にそれぞれ5万円を寄付する。

同組合は1983（昭和58）年に設立し、東三河の5市1郡（稲武町除く）で自動車整備事業に携わる大半の428社が加盟している。車検に必要な整備記録簿や点検ステッカーを東三河で唯一販売しているほか、これまでに「豊橋ナンバー」の実現に尽力、交通安全運動に取り組むなど社会貢献にも力を入れている。

（竹下貴信）